

電子ジャーナル目録登録 の 現状と課題

平成15.10.9
平成15年度第1回総合目録データベース実務研修

山梨大学 堀澤哲
東京大学 菅原英子
東京大学 成瀬めぐみ

1. 電子ジャーナル目録登録の経緯

日本目録規則1987年改訂版
「第9章 電子資料」改定 [2000.8]

「総合目録データベースにおける電子
ジャーナルの取扱い（暫定案）」発表
[NACSIS-CAT/ILLニュースレター1号
2000.8.10]

NIIによる電子ジャーナル（ScienceDirect及び
IDEAL）書誌レコードの作成 [2001.12]

1. 電子ジャーナル目録登録の経緯

関連事項

国立大学図書館協議会
電子ジャーナル・タスクフォース 設置 [2000.9]

- ・ 出版社との協議
- ・ 各館の電子ジャーナル の取り組みへの支援
- ・ 今後のコンソーシアムの枠組検討
等を行っている

2. 電子ジャーナルの現状（CAT）

書誌レコード数

雑誌レコード全体数 267,741件 [2003.10]
うち電子ジャーナルレコード数 3,858件 [2003.10]
うちNII作成以外のレコード数 329件 [2003. 8]

図書館作成書誌レコードは1割未満

2. 電子ジャーナルの現状（CAT）

所蔵登録機関数

CAT接続機関 1,017館
NII作成主要出版社レコード所蔵登録機関 201館
図書館作成レコード所蔵登録機関 29館 [2003. 8]

2. 電子ジャーナルの現状（CAT）

所蔵登録機関数

NII作成主要出版社レコード所蔵登録機関 201館

2タイトル以下の登録館が半分以上

誤って登録した可能性が高い（実質は100館未満）

2 . 電子ジャーナルの現状 (CAT)

所蔵登録機関数

図書館作成レコード所蔵登録機関 29館

- ・殆どは京都大学の作成したもの
- ・所蔵件数15件以上は2館のみ

所蔵登録機関の広がりもいまひとつ

2 . 電子ジャーナルの現状 (CAT)

CAT所蔵登録機関が抱える問題点

山梨大学の場合

- ・ローカルシステムが“IDENTフィールド”に未対応
- ・アクセス可能な所蔵巻次・年次データが出版社にコントロールされている為、データの修正が随時必要

3 . 電子ジャーナルの現状(ローカル目録)

国立大学図書館協議会会員館各Webpageで調査

OPAC検索不可 69館

事例：山梨大学

CAT所蔵登録は以前に行ったが、先述の問題点があるためOPACへのダウンロードはしていない。アクセスと検索は「電子ジャーナルサービス」コンテンツで行う。

3 . 電子ジャーナルの現状(ローカル目録)

OPAC検索可(間接) 3館

事例：東京大学

CAT所蔵登録は行っていない。アクセスと検索は「東京大学で利用できる電子ジャーナル」で行う。また、OPAC検索結果から同じ検索結果に飛ぶことができる。

3 . 電子ジャーナルの現状(ローカル目録)

OPAC検索可(直接) 17館

事例：東京工業大学

CAT所蔵登録は行っていない。アクセスと検索は「東京工業大学電子ジャーナルサービス」とOPACの双方で可能。

事例：京都大学

CAT所蔵登録を行っており、アクセスと検索は「学内向けサービス(電子ジャーナル)」とOPACの双方で可能。

4 . 電子ジャーナル目録の課題と展望

ローカル目録における電子ジャーナル

OPACからは所蔵検索できない機関が多い

利用者が冊子体と同時に検索できない

直接OPAC検索可能な機関の増加が望ましい

4 . 電子ジャーナル目録の課題と展望

CATにおける電子ジャーナル

- ・ ローカルシステム側の問題点
- ・ 所蔵データメンテナンスの煩雑さ
- ・ 検索結果からアクセスできるわけではない

登録するメリットが感じられない？

4 . 電子ジャーナル目録の課題と展望

CATにおける電子ジャーナル

- ・ リプレイスによるローカルシステム側の問題点解消
- ・ タイトル数の急激な増加
- ・ 冊子体のないオンラインオンリータイトル
- ・ 著作権状況変化によるILL利用増加の可能性

登録しないデメリットの増大？

4 . 電子ジャーナル目録の課題と展望

CATにおける電子ジャーナル

今後の展望

CAT登録の促進

より積極的なNIIの関与
コンソーシアム等との連携